

第2回府民公募型整備事業委員会（丹後広域振興局）の概要

日時 平成26年10月27日（月） 午後2時から3時45分

場所 京都府峰山総合庁舎 2階 第3会議室

委員	与謝野町婦人会顧問	小 牧 惠 子
	京丹後市社会福祉協議会長	磯 田 勵 一
	宮津市建設室長	坂 根 雅 人
	京丹後市建設部長	中 西 和 義
	伊根町地域整備課長	白 須 剛
	与謝野町建設課長	西 原 正 樹
	京都府教育庁管理部管理課長	岩 城 克 己
	京都府警察本部交通部交通規制課長	宮 路 正 美
	京都府丹後広域振興局企画総務部長	池 田 静 雄
	京都府丹後広域振興局建設部長	山 本 崇 裕

平成25年度、26年度事業実施採択分の進捗状況等について

- ・ 25年度（9月末現在）：土木58%、警察92%、左記以外100%、全体60%。
- ・ 26年度（9月末現在）：第1回採択分に係る既完成・発注施設わずか。

平成26年度の公募状況について

- ・ 当局で提案数に1増があり492件に修正。府全体数も1増の1,570件に修正。

技術審査結果について

○土木事務所分

- ・ 府民提案件数450件の内、今回審査件数50件、実施40件、実施しない10件
(実施採択率80%)
- ・ 市町村協働型1件は実施
- ・ 過年度実施採択分の再技術審査による実施しない3件（24年度2件、25年度1件）
※理由：用地買収ができない、大規模工事に該当、提案取り下げ

○学校関係分

- ・ 府民提案件数3件の内、実施2件、実施しない1件（実施採択率約67%）

○警察関係分

- ・ 府民提案件数37件の内、今回審査件数34件、実施18件、実施しない16件
(実施採択率約53%)
- ・ 既要望（市町村協働型）2件は全て実施

委員の主な意見等

〈質疑等〉

Q) 信号機設置の交通量とは。

A) 警察庁通達ではピーク1時間あたりの交通量が主道路300台以上としているが、道路構造令では一般的に全方向で1000台以下であれば一時停止規制で交差点制御ができるとされていることから、これらを1つの目安とし、その他見通し等も含めて判断している。

Q) 通学路になっているところで交通量が1000台はないのでは。

A) 1000台はほとんど超えない。

Q) 提案箇所が接近している場合でも案件ごとに個別に工事発注するのか。また提案はないが、提案箇所の近辺に同様の事案がある場合そこも含めて施行できないか。

A) 基本は個別で対応しているが、小さい工事で入札の効率に繋がる場合は合わせている。近辺の同様事案は、予算の関係もあるが配慮して行っている。

警察の技術審査結果を受け、審査番号001の提案についてはセンターラインの塗り直しを実施することとする。よって実施する案件数は41件、実施しないは9件となる。

Q) 一定の予算枠があると聞いたが、場所が接近している場合、まとめて行う審査及び執行が予算の効率化になると思う。また、河川護岸の立木の伐採が数件あったが、河川護岸なら将来大きくなることは予想されるので地元で管理してもらうなど提案者に返してはどうか。

提案事業となっているが、全体的に「要望」となっているように思う。提案と要望のすみ分けが難しいと思うが、提案事業の進め方についてはどうか。

A) 審査は適正であると思う。執行はその都度の効率的な方法で発注している。審査1件と執行1件はリンクするものでない。また、官地内であり提案者に返すのは難しい。管理者で施行しなければならないか。

土木には要望をたくさんいただいている。公募でしたらよいかの問い合わせもあるが、市町中に入ってもらい、そのあたりのすみ分けをしてもらっていると思っている。

採択結果

○今回提案分採択結果

所管課	提案件数	審査件数	実施決定数	実施せず
土木関係分	50	50	41	9
教育関係分	3	3	2	1
警察関係分	34	34	18	16

○今年度提案分採択結果

所管課	提案件数	審査件数	実施決定数	実施せず
土木関係分	450	450	332	118
農林施設関係分	2	2	1	1
教育関係分	3	3	2	1
警察関係分	37	37	19	18
合計	492	492	354	138

※市町村協働型を除く